

# 令和3年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 筒井 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 算数)

#### 教科に関する調査(国語, 算数)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

#### 児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

#### (1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.8	63	11.0	69
全国	9.1	65	11.2	70

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	無解答も少なく、特に「書くこと」の領域は正答率が高く、自分の考えを解答しようとする姿勢が見られた。「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域で「文章から読み解く力」に課題が見られた。
	よくできた問題	文章の下書きを用いて詳しく書き直す問題 下書きの構成についての説明を選択する問題
	努力が必要な問題	話の目的や内容の理解に関する問題 修飾語・被修飾語の関係をとらえる問題
算数	全体的な傾向や特徴など	「数と計算」「測定」の領域の正答率は高く、記述式の問題にも粘り強く取り組んでいた。「図形」「変化と関係」「データの活用」の領域で「数値を読み解く力」に課題が見られた。
	よくできた問題	二つの道のりの差の求め方をと答えを書く問題 棒グラフから数値を読み取る問題
	努力が必要な問題	組み合わせた三角形の面積を求める問題 データを表に整理する問題

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街とのかかわりが強い地域であり、コロナ禍ではあるが少しずつ開催されている地域行事にも参加しているため、地域や社会への関心は全国比より高い。</li> <li>・本年度、教育委員会より「よい歯の学校賞 教育委員会賞」を受賞するなど、家庭における歯磨き習慣をはじめ、基本的な生活習慣に関する意識は全国比より高く、安定している。</li> <li>・学校での学習習慣に関する意識、児童の規範意識及び自尊感情、家庭における学習習慣は全国比と同程度。</li> <li>・1日30分以上読書している割合は全国比と比べると7.3%高いが、1時間以上の割合は全国人比べると2.4%低い。</li> </ul>

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝自習では「読書タイム」を継続したり、子ども読書の日等の読書週間では全校放送で取り組みを紹介したり、学習後の学級活動の時間に読書活動を推奨したりするなど、読書に親しむ時間を増やす。</li> <li>・国語科では、学力定着サポートシステムを生かして「文章から読み解く力(修飾・被修飾の関係)」の補充学習の充実を図るとともに、ミニ漢字テストなどを継続して行い、新出漢字の定着を図る。「話す・聞く」の学習の際には、具体物を示しながら説明することに重点を置いた指導を行い、目的に応じて「話す力・聞く力」の育成を図る。</li> <li>・算数科では、朝自習の算数タイムの中で学力定着サポートシステムを生かし、「図形」「変化と関係」「データの活用」に重点をおいた補充学習の充実を図る。</li> <li>・タブレット端末を活用した練習問題を積み重ね、「数値を読み解く問題等」についてつまづきの見られた児童には、個に応じた指導支援に努める。</li> </ul>
--

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習については概ね定着しているため、今後は自主学習により一層取り組むことができるよう、家庭学習の進め方の参考例として、月に一度参考となる児童の家庭における自主学習ノートを拡大掲示する。</li> <li>・子ども図書館における子ども電子図書館活用を促すなど、読書活動の啓発を行う。</li> </ul>
---